

今普段は養親の氏、影森（影森 透）で呼ばれている。

子供の頃に実の両親と大事な友達を失ったはずだが、重要な記憶ははっきりと思い出せない。

実の両親の記憶は朦朧ながらあるような、ないような。失くした友達の顔は思い出せるのに。

気が付けば何処か知らない施設にいて、実の両親と友達だったという霧谷雄吾さんがそこから連れ出し、今の養親に預けてくれた。俺にとってはもう一人の親みたいなんだ。

「困った事があれば、どんな事で力になるよ」と、そう微笑んだ霧谷さんは。

さっと俺がオーヴァードに覚醒することを予測してたんだろう。